



ダッシュ

NPO法人目黒体育協会会報 発行編集／NPO法人目黒体育協会
発行日／平成24年8月*日

「特別表彰」「目黒区スポーツ表彰」特集号

「目黒体育協会特別表彰」、「目黒区スポーツ表彰」は、前年の都民大会終了日から本年の都民大会までの間、都民大会以上の上位大会で、優勝するなどの入賞者・チームに対し、体育協会から「特別表彰」、さらにその中で特に優れたチームや個人に目黒区が「目黒区スポーツ表彰」するものです。6月の区民大会閉会式・都民大会選手解団式で表彰されます。

第50回区民大会閉会式・第65回都民体育大会選手解団式、表彰式

6月30日土曜日、碑文谷体育館において、区民体育祭の大会会長青木英二区長、大会副会長石塚友宏体育協会会長、大会名誉会長伊藤よしあき区会議長以下大会関係者出席のもと、「第50回区民大会閉会式・第65回都民体育大会選手解団式と特別賞表彰、目黒区スポーツ賞の表彰式」が開催されました。

大会会長から選手団に労いと入賞者に対する祝福があり、石塚会長の挨拶に続き、谷川宏治都民大会選手団団長から大会団旗が返還されました。引き続き、この1年間、都民大会など東京都大会以上で3位以内に入賞した6の団体と20人に特別賞が、NPO法人体育協会から「体育協会特別賞」の賞状と盾が贈呈されました。

さらに、特別賞を受賞した中で、都民大会で優勝した目黒区ライフル協会と目黒区バレーボール連盟、少年サッカー「さわやか杯」東京都大会で優勝した目黒区サッカー協会ヴィクトリア目黒フットボールクラブの3団体に、目黒区長から「目黒区スポーツ賞」が贈呈されました。

解団式・表彰式終了後会場を移し、戦いの様子などを楽しく振り返り、懇談に花を咲かせました。



解団式・表彰式の様子

24年目黒体育協会特別表彰（個人）

氏名（種目）	大会名	順位	氏名（種目）	大会名	順位
土屋慶子（卓球）	都選手権	H70優勝	高城正（アーチェリー）	都インドアOP	BBシニア1位
加藤知子（水泳）	国際マスターズ	総合3位	大湯豊明（アーチェリー）	都インドア、他	リカーブシニア2位
安達智己（ライフル）	都民大会	50M3姿勢2位	久保誠（アーチェリー）	全国マスターズ	リカーブシニア優勝
小笠原利幸（ライフル）	都民大会	50M第3位	下川洪衛（アーチェリー）	都マスターズ	コンパウンド2位
大関梢（ライフル）	都民大会	10M2位	物井誠（アーチェリー）	都マスターズ	リカーブ3位
猶村洋（ライフル）	全国冬季DSS	ビームP優勝	今関郁雄（アーチェリー）	都室内選手権	リカーブシニア2位
田中進一（バドミントン）	全日本B都予選	40歳男D、優勝	吉田一夫（陸上）	都マスターズ	M80走り幅跳び2位
千葉文明（バドミントン）	同上	40歳男D、優勝	針生丈士（重量挙げ）	都国体予選	105K 1位
白髭希美（アーチェリー）	都中学大会	リカーブ 優勝	大西晴啓（重量挙げ）	都国体予選	94K 1位
細貝麻衣（アーチェリー）	都インドアOP	リカーブ青女1位			

24年特別表彰（団体）

ライフル射撃	都民大会	団体優勝
バレーボール	都民大会	男子優勝
バレーボール	都民大会	女子準優勝
不動パイレーツ（スポ少）	都学童軟式野球	準優勝
ヴィクトリア目黒フットボールクラブ	さわやか杯（東京都中央大会）	優勝
区立東山中学校	東京都中学駅伝	優勝

本年、目黒スポーツ賞を受賞した①目黒区ライフル射撃協会監督
②ヴィクトリア目黒フットボールクラブ監督、目黒区バレーボール連盟男子監督に優勝の弁を書いてもらいました。

ふたつの優勝旗と誇りに思う事

都民体育大会目黒区監督 植田宗久

本年も引き続き、都民大会優勝旗を目黒区に持ち帰る事ができました。二位を大きく引き離しての圧倒的な完全優勝でした。

昨年の優勝はわが選手団の喜びと共に、大会65年の歴史上でも初となる、偉大な記録を達成しました。目黒区の小笠原選手が満射600点を成し遂げたのです。10M先の標的（中心0.5mm）が全て打抜かれ、満射が確認された瞬間、採点室では期せずして歓声が沸き起こったと聞きました。この記録は、他の若い選手達への良い刺激となり、優勝の触媒ともなったのではないのでしょうか。

団体競技は、10M競技3種目、50M競技2種目の合計5種目で競います。この全種目に参加し、選手

全員が入賞すること。それが十数年前に監督を引き受けた際、私自身に課した目標でした。今年の優勝でそれが遂に達成出来た事を誇りに思います。連覇という例年以上の緊張とプレッシャーで戦い、お腹の調子が悪かったと試合後に打ち明けた選手に、改めて感謝します。優勝旗をありがとう！

この十年間の成績は優勝三回、二位が一回、三位が三回、四位が二回など常に選手は目黒区を代表して優勝を目指し、戦ってきました。私は一緒に戦ってきた選手を誇りに思っています。

銃の所持許可書を取らずに楽しめる射撃として、ビームライフルとデジタルピストルがあります。手軽さから、若年層や女性に人気があります。目黒区中央体育館では毎週土曜日に予約制で公開練習を行っており、当射撃協会から交代で指導員を派遣しています。

大会に備えて練習するだけでなく、若年の競技者を、教え指導していくという地味な日常の経験が、タフな競技者へと成長することに繋がります。団体優勝への道筋ともなったのではないかと思います。こうした活動を通して、若い世代や多くの人達に、射撃の面白さや楽しさが伝わり、精神集中の快感に目覚めて、このスポーツの裾野が広がって行く事を願っています。そしていつの日か、この目黒区からオリンピック選手を輩出する事が、私の更なる夢です。

目黒区ライフル射撃協会事務局

植田 宗久

megurorifle1@mac.com

http://www.megurorifle.com



さわやか杯東京都中央大会 優勝

ヴィトリア目黒

二〇一一年一〇月一六日、さわやかに晴れ上がった秋空、さわやか杯東京都中央大会の準決勝、決勝戦が北区赤羽スポーツの森公園競技場で行われました。大人のフルピッチ、大人のゴールでの試合でし

たが、九月からの各地区大会予選を勝ち上がった四八チームが出場し、いままで培ったものをすべて出し、六七〇チームの頂点にたちました。東京ではクラブチームの壁は厚く優勝することが難しいと言われてきましたが、今大会で地域のチームでも頑張ればクラブチームを破ることが実証できたと思います。ヴィトリア目黒は地域のサッカーが大好きな子ども達の集団です。地域の清掃ボランティア活動にも積極的に参加し、地域に根ざしたチームづくりを目標に子ども達と共に活動しています。

なお、今年の六年生は六月に七〇三チームが出場した全日本少年サッカー東京都大会において優勝はできませんでしたが、四位入賞で、八月に神奈川県で行われる関東大会に東京代表として出場します。



全目黒（ぜんめぐろ）男子チームは、一九六八年に結成された伝統のある9人制バレーボールクラブチームです。

目黒体育協会をはじめ、目黒区バレーボール連盟、全目黒女子チーム、OB、地元の多くの皆様に支えられて活動を行っています。

現役メンバーは二四歳から三六歳までと幅広い年齢層で構成され、毎週金曜日に主に目黒区立碑小学校で練習をしています。

今年5月には第64回都民大会に優勝し、2年ぶりの栄冠を手に入れました。

5連覇を目指した昨年は第一シードでありながら初戦敗退に終わり、周囲の期待を大きく裏切る結果となりましたが、その悔しさをバネにチーム全員で一年間頑張ってきた成果が報われたのだと思います。

今年八月にはクラブチーム日本一を決める第三十二回全日本9人制バレーボールクラブカップが長野で開催され、東京都代表として出場します。全国の強豪相手に苦戦は必至ですが、目標は全国制覇です。実現困難な高い目標を設定し、それに挑み続けたからこそ今の全目黒があります。

目黒区を、そして東京都を代表し、悔いの無いよう全力で頑張つてまいります。応援宜しくお願いします。

全目黒男子 主将 藤 俊久仁

